

記入例1 子所有の不動産に抵当権を設定する場合

申立書を提出する裁判所（未成年者の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印		特別代理人選任申立書	
収入印紙 円		(この欄に収入印紙 800 円分を貼ってください。)	
予納郵便切手 円		印紙 (貼った印紙に押印しないでください。)	
準口頭	関連事件番号	平成・令和 年(家) 第	号
<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日		申立人の 記名押印	甲野 太郎 甲野 花子 <div style="float: right; text-align: center;"> <input type="checkbox"/> 印 <input type="checkbox"/> 印 </div>
添付書類 (同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 親権者又は未成年後見人の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 特別代理人候補者の住民票又は戸籍附票 <input checked="" type="checkbox"/> 利益相反に関する資料(遺産分割協議書案、契約書案等) <input type="checkbox"/> (利害関係人からの申立ての場合) 利害関係を証する資料			
申立人	住所	〒 000 - 0000 電話 00 (0000) 0000 00県00市00町00番00号 00アパ00号 () 方	
	フリガナ氏名	甲野 太郎	昭和平成令和 ○年○月○日生 () 歳 職業 公務員
	フリガナ氏名	甲野 花子	昭和平成令和 ○年○月○日生 () 歳 職業 なし
	未成年者との関係	※ ① 父母 2 父 3 母 4 後見人 5 利害関係人	
未成年者	本籍(国籍)	00 都道府県 00 市 00 町 00 番地	
	住所	〒 - 電話 () 申立人の住所と同じ () 方	
	フリガナ氏名	甲野 次郎	平成令和 ○年○月○日生 () 歳
	職業又は在校名	00 中学校	

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲んでください。

申 立 て の 趣 旨
特別代理人の選任を求める。

申 立 て の 理 由	
利益相反する者	利益相反行為の内容
※ ① 親権者と未成年者との間で利益が相反する。 2 同一親権に服する他の子と未成年者との間で利益が相反する。 3 後見人と未成年者との間で利益が相反する。 4 その他 ()	※ 1 被相続人亡.....の遺産を分割するため 2 被相続人亡.....の相続を放棄するため 3 身分関係存否確定の調停・訴訟の申立てをするため ④ 未成年者の所有する物件に ① 抵当権 を設定するため 2 根抵当権 5 その他 () (その詳細) 債権者株式会社〇〇銀行、債務者申立人太郎連帯債務者申立人花子間の金銭消費貸借契約に基づく債務の担保として、未成年者が所有する不動産(別添の登記事項証明書に表示のもの)に債権額金1,000万円の抵当権を設定するため。
特別代理人候補者	住 所 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇 県 〇〇 市 〇〇 町 〇 丁目 〇 番 〇 号 () 方
	フリガナ氏名 オツノ サブロウ 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 職業 会社員 乙野 三郎 平成 (〇〇 歳)
	未成年者との関係 母方の叔父

1〜4に該当しないときはここに簡単に記入してください。

特別代理人の選任が必要なる事情を分かりやすく記入してください。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

1〜3に該当しないときはここに簡単に記入してください。

当該利益相反行為について利害関係がない人で、特別代理人として適当と思われる方を記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分については、当てはまる番号を○で囲み、利益相反する者欄の4及び利益相反行為の内容欄の5を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。